さわやかUだより

第42号
2020. 1. 20

発　行　所:NPO法人さわやかU
発行責任者:宅本　門示
編　集　者:太谷　宣和　坂上　由紀子

〒920-0024　金沢市西念3丁目3番5号　石川県労働者福祉文化会館5階
電話(076)222－3337　　FAX 222－3374
E-mail　ikvc@isis.ocn.ne.jp
ホームページ　http://www.sawayaka-u.jp

謹賀新年

迎　２０２０年

新年のごあいさつ

理事長　　澤　　信　俊

「誰ひとり取り残されることのない社会」

新年あけましておめでとうございます。
さわやかUは、平成12年に導入された介護保険制度で、保険適用対象にならない通院通所、買い物、自宅清掃、庭木手入れ等々、利用者の日常生活の不自由や不便を少しでも軽減しようと、同年9月から活動を始めました。

私たちの活動も満20年を迎える今年は、介護保険制度の導入時に提唱された「家族介護」から「介護の社会化」が、この20年間で順調に進展したかを問う節目の年です。近年の訪問介護の回数減や生活援助サービスの利用抑制が強まっている現実を見ると、高齢者介護は家族責任で行わなければならないという風潮が、今日では支配的になってきていると思われ「再家族介護化」が始まっているといえます。

今後、団塊世代の要介護人口が増加することを考えると、家族にとって介護の困難が待ち受けています。団塊世代のジュニアは就職氷河期の世代でもあり、以前からいわれている「老若漂流社会」にならなければ良いがと願うばかりです。

格差社会が益々深刻さを増す中、すべての人が普通に人間らしく生活できる社会が段々と遠退いているように思います。誰ひとり取り残されることのない社会に一歩でも近づけるために、私たちはこれまでの活動に加えて、新たに食品ロスをなくするフードバンク活動、子ども食堂への支援活動、食･みどり･水の安全と安心を確保するため里山･里地･里海の保全活動にも取り組み始めました。

NPO活動20年を機に、正式団体名を「いしかわ介護ボランティアセンター」から「さわやかU」に改称したのも、こうした活動領域が広がったからであります。「U」はUnionの頭文字Uで、組合、連合と同じく「二つ以上のものを一つにすること」を意味しています。

誰ひとり取り残されることのない社会を目指し、多くの皆さんがさわやかUに関心をもっていただき、さわやかUに参画支援されますことを願っています。

会員の皆さまのご支援とご協力を、本年もよろしくお願いいたします。

恒例の年末餅つきで交流～

「思い出のフォト」

12月7日、円光寺文化センターにて毎月開かれている「こども食堂」さんとコラボして、総勢40名の参加のもと2時間ほどのひと時を楽しみました。天候にも恵まれ餅つきグループは屋外で手ほどきをしながら～、餅形成グループは屋内で段取り良く美味しい餅に仕上げていただきました。当日、関わっていただいたすべての皆さんに感謝！！！